

様式第3号(第12条)

会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度 第1回社会教育委員会議
開 催 日 時	平成30年7月20日(金) 午後7時00分から 午後9時00分まで
開 催 場 所	吉川市役所304会議室
出席委員(者)氏名	豊田正一、高田明充、大里京子、小林光仁、大槻健一、丸栄作、 一戸裕美子、吉澤力、鈴木博、能登克己、佐々木絹子 計11名
欠席委員(者)氏名	足立有庸、高尾百合子、宮田淳子、池畑沙綾香 計4名
担当課職員職氏名	生涯学習課 課長：宗像浩、補佐：程田浩司、主事：吉田亘宏 中央公民館 館長：佐々木清匡、係長：森田武 計5名
会 議 の 次 第 及 び 会 議 の 公開又は非公開の別	議 事 (1)平成29年度生涯学習(社会教育)事業実績について【公開】 (2)社会教育委員会について【公開】
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)	
傍 聴 者 の 数	0名
会 議 資 料 の 名 称	・平成29年度生涯学習(社会教育)事業について ・家庭教育について ・平成30年度公民館要覧「さつき咲く」 ・平成29年度埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会研修収録
会 議 録 の 作 成 方 法	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会 議 録 確 認 指 定 者	一戸副委員長・大里委員
そ の 他 の 必 要 事 項	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、決定事項等）	
事務局	<p>1 開会</p> <p>2 委員長あいさつ 会議録署名委員の指名について、一戸副委員長、大里委員を指名した。</p> <p>3 議事：進行は吉澤委員長</p> <p>(1)平成29年度社会教育（生涯学習）事業実績について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より説明願う。 ・資料に基づき説明《省略》 ・何かご意見・ご質問はあるか。中央公民館で活動している団体として、なにかあるか。 ・子どもたちに喜んでもらえる活動を楽しみながら行っていきたい。 <p>(2)家庭教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から説明願う。 ・資料に基づき説明《省略》 <p>今回は、ワークショップ形式で様々なご意見をいただき、次回、報告書に盛り込んで素案を示していきたい。 ～2班に分かれてワークショップ～</p> <p>《1班の発表》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの居場所がなく、子どもが落ち着かない。 ・ゲーム遊びにより、空想と現実や善悪の判断がつかない子や、人の気持ちを考えることができなくなった子どもが多くなった。 ・親が忙しいことから子どもにゲームを許容し、親とコミュニケーションがとれなくなっているのは、父親の帰りが遅くなっているのが一因である。 ・家で怖い存在である大黒柱が不在である。 <p>《2班の発表》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子の交流が不足しているが、家庭における親子交流は大切である。 ・昨今の親は子どもの手本になっていない。学校へのクレームを平気で子どもの前でする親がいるが、子どもが親になった時に負の連鎖になってしまう心配がある。 ・親が地元で勤め早く帰ってきて、子どもと一緒にご飯が食べられる「職住近接」の環境を、民間・行政がつくるべき。
委員長 事務局 委員長 委員	
委員長 事務局	
委員	
委員	

委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・これらの意見に対して感想等伺う。 当委員会も夜の会議であり、子どもとコミュニケーションをとれている環境とはいいいがたい面もある。環境づくりは簡単ではない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・父親が不在で母は夕食準備となると、子どもはゲームを相手にするしかない。万引きをしても、親でなく学校に通報がある社会はどこかおかしい。ボーイスカウトにいる親子は仲が良く、親の指導も適切で、しっかりした子どもが多い。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・委員の意見は皆同じで「コミュニケーションは大切である」ということだと思った。教育以前に、親の背中を見ながらコミュニケーションが育まれることが一番大切である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものために様々な活動をしているが、たまには早く帰りコミュニケーションをとろうと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・おかしいことをおかしいと思えることや、早く帰る風潮を広げることが大切である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・親の学習を、親が集まる機会をとらえて行っていくこともよい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・昔は、コメ作りなどを地域で助け合って暮らしてきたが、今は機械化になり助け合いが不要になったことから、コミュニケーションが不足してきているのだと思う。豊かになった分、助け合いというコミュニケーションが少なくなり、感謝の気持ちが少なくなった。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・大人と上手にコミュニケーションをとれる子が少なく、体験活動などにより、地域がフォローしていくことが大切であると考えている。学校や家庭以外で、大人とコミュニケーションをとることが大切である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級などで経験や体験をさせ、親子でのコミュニケーションの場をつくってあげることが大切。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の子育ての経験だが、常に帰りが遅かったため夫と子どもが夕飯を作ってくれていた。その子が結婚し、妻に食事を作ってくれらしく嫁から褒められる。子どもは親の背中を見て育っていると感じた。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・若い親はコミュニケーションの取り方が分からないこともあるため、特に父親に、コミュニケーションを学ぶ場をつくってあげることが大切である。育ってきた環境のまま大人になるので、子どもの時に理想の家庭像に触れられるような、学ぶ場をつくってあげることが大切である。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・親の学習には親になる前の親学もあるなど、メニューも豊富にあるのでPRをした方がよい。 ・次回は、これらをまとめて報告書の作成をお願いします。

事務局

4 その他

○総合政策として芸術文化事業を推進するための基本的な方針
について

- ・総合政策として芸術文化を地域の課題解決につなげていくための方針作りを策定中である。

5 閉会（21：00）

以上、この会議の内容に相違がないことを証するため、ここに署名する。

平成 31 年 3 月 30 日

署名委員 一戸 裕美子

署名委員 大里 京子